

システム概要

○ 幅広いアプリケーションに対応できる汎用のシステム

➤ CPU

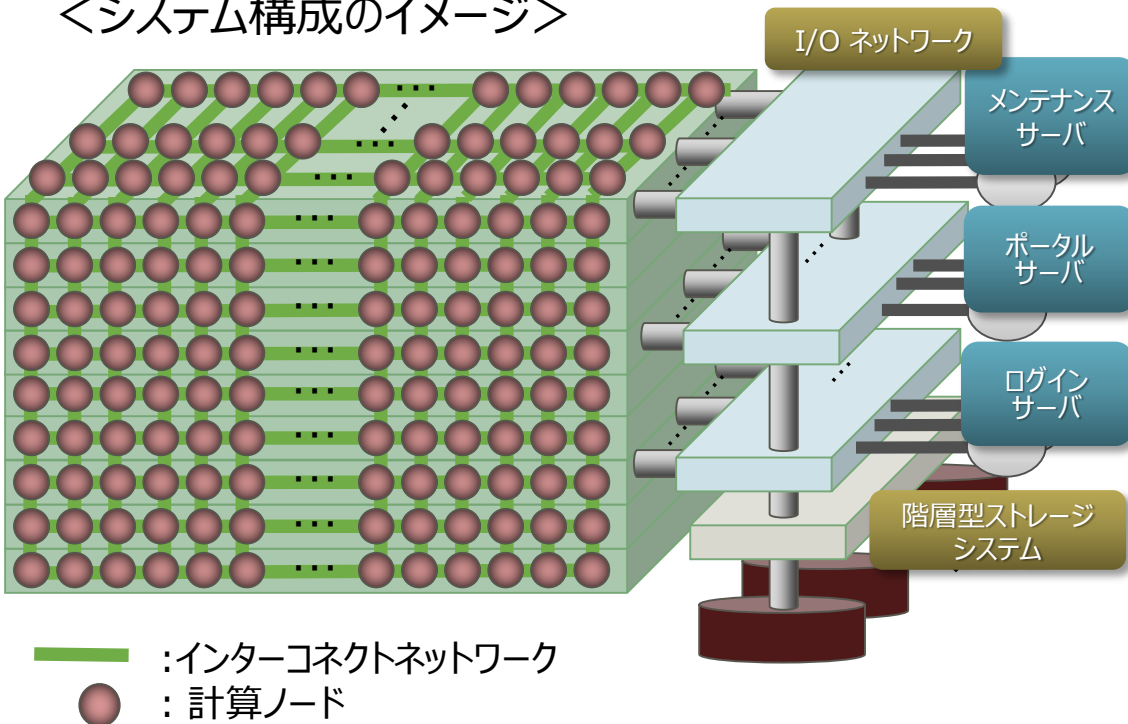
- ・ 汎用CPUを用いたメニーコア型アーキテクチャ → 高い汎用性、幅広いアプリ実行に利点。
- ・ ネットワークインターフェイスをチップ内に内蔵 → 高い通信性能、大規模並列処理に利点。

➤ ネットワーク構造

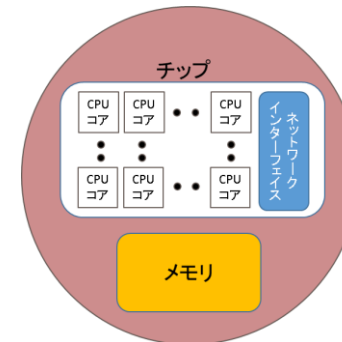
- ・ 「京」の多次元トラスネットワークトポロジを踏襲 → 高い移植性、京の資産を生かす利点。

○ 総事業費約1,300億円（うち、国費分約1,100億円）

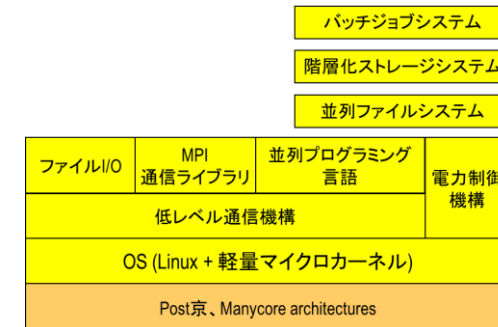
<システム構成のイメージ>



<計算ノード>



<ポスト「京」で想定されるシステムソフトウェア群>



※システムソフトウェア・・・ハードウェアを管理・制御し、アプリケーションプログラムを安全かつ効率よく実行するための環境を提供するソフトウェア群